

# 釧路の子どもたちにもたち役に役立てて 市に寄付

## 萬木建設と田中組道東支店

子どもたちのために使ってほしいと、釧路市に拠点のある2社が市にそれぞれ寄付金を贈った。

萬木建設（釧路市）は児童圖書の購入費として20万円を寄付。社会貢献活動として1987年から毎年続けており、昨年までの寄付冊数は全児童館で約4600冊（総額580万円）に上る。漆崎要社長らが15日、

市役所を訪れ、「今年も継続できて良かった。小さい頃から本に親しむ機会になれば」と蝦名大也市長に寄付金を手渡した。

また、釧路市にある建設業の田中組（札幌市）道東支店は同日、10万円を寄付。交通事故の多かった1975年から毎年、親を亡くした子どもを支援するため、社員から寄付金を募ってい

る。今回を含めた寄付総額は450万円。市福祉基金に積み立てる。

同支店の吉田成年支店長と職員代表の宮崎智美さんが市役所を訪れ、宮崎さんが「子どもたちの福祉増進に役立ててください」と蝦名市長に寄付金を贈った。

（相川康暁）



蝦名市長（右）に寄付金を贈る漆崎要社長



蝦名市長に寄付金を手渡す宮崎智美さん